

一般質問

24年度第3回定例会が3月6日・7日・8日に開かれた。

一般質問に8人が登壇し、活発な議論を展開した。

町外から通勤する職員が町の足かせに



負の遺産となる物件は

答 公売も考える

問 農本 規仁

高校教員住宅、町有地の競売は好評だったが、解体費用を考えると将来負の遺産となる物件はないか。

また、部署を定め検討しているか。

答 町長

町有財産管理協議会で検討していた6カ所のうち、申請のなかった3カ所は、自由に使用可能な土地として公売も考える。今後は、財産管理委員会、前向きで検討していく。

問 農本

茶工場跡は宅地として一等地だが。

答 下方仁淀総合支所長

現在、農政局にコア置場として賃貸しているが、時期や若者定住も含め、再度検討していく。

答 町長

早い時期に、借地問題も含め財産管理委員会でも検討していく。



別府小プール跡地

I・Uターナー者に対応を

答 態勢を整え対応

問

農本

都市部の人との交流の場ができてつとあると感じるが、I、Uターナー者に対し、何らかの対応を考へる時期では。

答

町長

就労の場については、求人情報が得られやすい状況を作りたい。
24年度からは、県の移住促進事業を活用し、3年計画で移住希望者の扱

点整備や、イベントを通じて就業支援や短期移住の実施、空き家、耕作放棄地の活用等の事業を行い、広げていくことで町全体として態勢を整え、対応を総合的に行ってきたい。

議長一口メモ!

議長に就任し初めての議会、三月定例会も閉会、24年度が始まった。
平成12年に議会に手を挙げたのは、15年間大阪で生活し、帰って来たとき、中学時代に夏は毎日鮎をはねていた土居川が水量も減り、緑色のコケも茶色と、昔の面影はなく、山の自然林が大

半植林となったことが一因で、きれいな水を取り戻すには植林の整備が必要

との思いであった。

谷周辺の植林を切ったら、もつごが見えた、たらの木が芽生えてたなど、自然にすぐ戻る。

写真家の高橋さんも、「仁淀川の岸辺を自然林に」と言っている。谷川、道路周辺の植林の整備をすれば、本当の自然環境の中で人が生活できる。

地球上の水で、生活に利用可能な淡水はわずか1%、人体の水分的約60%で生きている。貴重な水。

片岡 政徳



日曜市 (仁淀川町の一コマ)



(株) ソニアは

答 資産の譲渡

問 山口芳正

(株) ソニアの現状は。

答 町長

資産の大部分を仁淀川林産協同組合へ譲渡することとなり、登記手続きを進めている。

債務は政策金融公庫借入金を一括返済し、固定資産税滞納分、訴訟和解金は3月に支払う。

今後は残り資産の譲渡、森林組合の債権回収、農協借入金の返還などの検討を進め、解散清算に向けての調整を進めていく。

問 山口

ソニア資産の鑑定人や鑑定結果の説明と資料の提出を求める。また、資産の売却の内容と契約はいつか。

答 町長

専門家に鑑定を依頼し、評価している。

資産の売却内容や契約資料も含め、社長の越知町長と協議し、提示するかどうか検討する。売却の契約は24年1月

31日にした。

問 山口

資産6億円余で健全との説明を受けていたが、7千200万円ですべて売却との差額は説明は。

答 町長

資産評価は5億円余りあるが、売却差額は鑑定人による評価と、これによって、林産協同組合と協議し、7千200万円位で売却となった。その結果として帳簿上の評価とは、大きく差が出ている。

問 山口

23年10月末に、固定資産税の滞納が3千300万円ありあるソニアが、健全と言える根拠は何か。

答 町長

10月末時点ではそういう状況だが、森林組合に対する貸付金など債権もあり、それから資産などもあった関係で、会社として成り立っていると報

告している。

問 山口

ソニア定款、2条の目的に林業機械木材加工施設などの貸付に関する業務とあるが間違いないか。

答 片岡副町長

定款に定めている。

問 山口

定款どおりの貸付運用で成り立つのではないか。

答 町長

借り受けでは製材もあり難しい。木材原木の供給を主眼に、乾燥施設で付加価値を付け有利販売に努めており、借りる思いは持っていない。

問 山口

総額15億円余の莫大な出資金が消滅するが、町民への総括説明は。

答 町長

ソニアは多額の公的資金により設立された会社であり、現在の状況を鑑みたととき、ここに至った経緯を総括する必要があるかと考えている。経営について議会の調査報告もされているが、町とし

ても再度、経営総括を行い、多額の赤字原因を明確にすべきと考える。設立からの経営状況、赤字の要因をまとめ、議会と町民の皆様へ広報や区長会、地域懇談会などの場を通じ説明していきたい。ただ最終的な清算にはまだ数年かかり、時期をみて説明したい。



池川茶園で販売されている加工品

主に農業や水産の分野で使われることが多い。農業のブランド化や消費者への直接販売、農家レストランの経営などが上げられ、本町では池川茶園の茶畑プリンが良い例だ。

439市の改修を計画しており、農業者の所得向上と地域活性化を図りたい。吾川、仁淀地区でも要望があれば検討したい。

答 町長

6次産業を国も大々的に取り上げる方針だが、本町の考えは。

問 山口

6次産業の育成を

答 検討したい

問 藤原陽三

33号線の三坂峠も一新した。県のアクシヨンプランにも仁淀川観光が追加された。

商工会に観光拠点を

答 職員を配置

商工会に観光の拠点を置いて、情報を発信して町と共に観光を推進することに今後大いに期待する。

答 町長

観光情報の発信強化やネットワークの構築などにより、情報化の充実に図る。

昨年2月に町内観光関連団体有志により、住民がガイドとなり地域住民と触れ合い、住民が歴史や伝統を肌で感じながら町内を散策して少人数のツアーを町内各地で実施した。

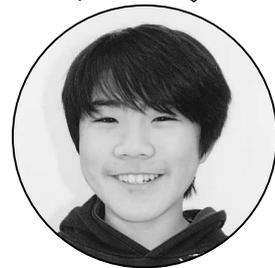
観光を考える会が補助事業を活用してガイドの養成をしている。

商工会に職員を置いて観光客の利便性を高め、窓口機能はもとより、観光資源や情報を共有する。それらを活用した着地型観光ツアーの企画し、観光客を受け入れ、意識の向上のための講演会なども予定している。



仁淀川町商工会 仁淀支所

コラム



僕は名野川小学校が無くなるのが残念です。

思い出

六年間名野川小にいて、いろんな思い出ができました。

一年の時は上級生の名前をまちがえ、二年の時には、九九を覚えてもらったけど、なかなか覚えられませんでした。

三、四年の時には、苦手な宿題がいっぱい出されました。

五、六年になると、苦手な宿題にもなれて、そして楽しいことや、責任のいることが多くなりました。でも、いろんなことがあり、楽しかったです。

最後の名野川小をととても楽しみたいです。

六年 大野 修